

1学年通信

山形県立米沢興譲館高等学校
1学年
第13号
2016(平成28).7.22(金)発行

各種体験セミナーへ参加して

間もなく終業式となり、1学期が終わろうとしています。みなさんは1学期を振り返ってどうだったでしょうか？

高校生活にもだいぶ慣れてきている様子も見られ、来月行われる興譲祭や合唱コンクールに向けての準備をクラスで少しずつ進めているようですね。是非、各クラスで協力して良いものを創りあげていきましょう。

さて、今回の1学年通信では、16日に山形大学医学部で実施された「医師・看護師体験セミナー」などに参加した生徒の感想を掲載します。進路志望が医療系の人はもちろんのこと、医療系以外を目指している人にも参考になるとと思いますので、参考にして下さい。また、今後もこのような体験学習やセミナーなどがあると思いますので、是非積極的に参加して進路を考えるきっかけにしてみましょう。

山形大学医学部 医師・看護師体験セミナー (3組 M. Y)

私は、山形大学医学部が主催する「医師・看護師セミナー」を体験しました。自分の将来を決定するきっかけの一つになればと思い、参加しました。エコー体験、救急救命活動、妊婦体験など多数ありましたが、私が特に印象深かったことは、“がん化学療法の看護”です。

以前、抗がん剤化学療法は病院で行われていましたが、現在では自宅での使用、さらには外出が可能になるまで技術が進んでいます。AYA (Adolescence and Young Adult : 15~29歳) 世代でがんになった方々の動画を視聴しました。ご飯を食べ、友達と他愛もない話をするなど、当たり前のことできないと言っており、私はこのとき、「病気と一生懸命に戦っている人を一生懸命に助けてあげたい」と強く感じました。

医療現場は多くの人たちが連携して一人の患者さんの命を救う場だと改めて心身で学びました。目の前の患者さんの命に関わるため、責任感はありますが素敵な職業だと感じます。今回の体験を通して医療という道が自分の希望する道に変わり、よい機会となりました。

山形大学医学部 医師・看護師体験セミナー (5組 A. T)

私は、このセミナーで山形大学医学部の特色、医師の魅力、大変さなどを知ることができました。まず、午前は医師・看護師志望者合同で、救急救命について学んだり、育児・妊婦体験をしたりしました。救急救命のコースでは、心肺蘇生法や AED といった基礎的なものから腹部エコーや気管挿管といった少し専門的な技術を要するものまで学びました。どちらも実用的なものでとても自分にとってためになったので、良かったです。昼食では他校の生徒や山大医学部生と楽しく話をしながら食事をするのができて嬉しかったです。

午後は、医師コースの方に進み、最先端の手術道具を使って手術体験をしました。中でも、振動させて発生させた熱を用いて臓器を切断できる「ハーモニック」は使っていて印象に残りました。

このセミナーで数多くの貴重な体験をしたということと、有意義な時間を過ごしたということを実感しました。これからも、有力な医師になれるように一生懸命頑張りたいと思います。

山形大学医学部 医師・看護師体験セミナー (2組 I. N)

私は医師・看護師体験セミナーに参加してきました。本格的な体験ができること聞き、期待が膨らむ一方でとても緊張していました。しかし、最新の医療に触れることで段々と強い興味が湧いてきました。私が特に興味を持ったのは、ハーモニック(超音波凝固切開装置)です。これは、はさみのような装置で、片方の先が1秒間に55,000回振動します。これによって熱を発生させ、血を固めながら切開ができるのです。実際に鶏肉や豚の頸動脈を切ってみると部位によって切れるスピードや切れ味は異なりますが、しっかりと焼き切れて傷口が塞がっていました。一瞬で切開と凝固ができるということに衝撃を受けました。

今回、このセミナーに参加し、普段決してできない体験をすることで視野と可能性が大きく広がったと思います。そして何よりこの1日は私にとって、とても刺激的でした。今後、またこのような機会があれば積極的にチャレンジしようと思います。

山形大学医学部 医師・看護師体験セミナー (4組 T. B)

僕は7月16日に医師・看護師体験セミナーに参加しました。午前中は救急救命や育児・妊婦の体験をしました。心肺蘇生法やAEDについては以前から知っていましたが、実際に体験してみると難しいと感じました。また、腹部エコーや気管挿管などの自分にとって新しい技術を学ぶことができました。

午後には手術体験を行いました。手術を行っている医師のすばらしさや大変さを実感できました。

今回の体験を通して、医師は人々の命に大きく関わる仕事だと改めて思ったし、自分が医学部を目指したいという気持ちをより強く持てるようになりました。これからも、自分の夢に近づけるように、勉学に一生懸命励んでいきたいです。

理学療法士体験

(2組 W. K)

今回、理学療法士体験をしてみて、理学療法士とは患者さんの笑顔を取り戻す仕事だと知りました。また、リハビリでは、歩けるようになったら理学療法士の仕事は終わりではなく、その先の生活で患者さんが不便をなるべく感じずに暮らせるかというところまでが理学療法士の仕事だということがわかりました。

理学療法士は僕が思っていたより、患者さんの生活そのものに深くかかわっている仕事だとわかりました。

<来週以降の予定>

7月25日～29日	特別時間割(5校時まで)+授業補充(6・7校時)
26日	学習合宿ガイダンス(昼休み)
29日	終業式、救急法講習(午後)
30日	オープンスクール兼SSHサマースクール (自治会執行部参加)
30日～1日	学習合宿(蔵王ロッジ ドッコ沼) 希望者参加
8月8日	中間登校日・FS③ 午前中はテスト等を行い、午後はFS(異分野融合サイエンス)

なお、29日終業式や8月8日中間登校日の日程詳細は教室掲示等で後日連絡します。